



株式会社DTS 新しい働き方を支援する ネットワーク改善サポートのご紹介

INDEX

1. 新しい働き方とネットワーク
2. ネットワーク環境改善
3. DTSのご提案
4. 株式会社DTS 会社概要

1.

新しい働き方とネットワーク



働く環境の変化

一変した環境に対応できていますか？

働き方改革、DX等様々な取り組み課題がある中、2020年のCOVID-19以来、その取り組みは加速し私たちの労働環境は一変しました。システム面での大きな変化はテレワークの導入とクラウドサービスの活用でしょう。最善策の検討を待たずに急激な変化を強いられた企業では、ネットワークを含むインフラとその運用者が悲鳴を上げています。



▶ VPN渋滞

これまでリモートワークの環境はあったので、その環境を使って一斉テレワークを開始した。VPNの許容数を超過してしまい、接続できない社員が頻出。接続できても、ネットワークが遅く、生産効率が悪い。

▶ ネットワークコストの増加

業務中のコミュニケーションがリモート会議システムを使うようになったため、ネットワークのトラフィックが増大。暫定処置で既存契約のWAN回線の帯域の拡大をして逃れているが、コストの増加が著しい。

▶ セキュリティの不安

これまで物理的にオフィス内にあった端末が、社員の家などに持ち出されて利用されるようになった。デバイスのセキュリティや情報漏洩などがないか心配。

2.

ネットワーク環境改善



VPN 渋滞 ①

STEP 1

▶ 課題

VPNライセンス不足

VPN機器には、同時接続の上限が設定されています。
また、利用するクラウドサービスによっては、複数の接続を同時に必要とするものが存在します。これにより、VPN機器の同時接続上限を超えてしまい、VPN渋滞が発生します。

集約回線のオーバーフロー

近年、自宅からのVPNアクセスや、クラウドへのアクセスが増加しています。その為、これまで以上に通信を集約している本社/DCの回線が混み合い、遅延の大きな原因となっています。



▶ 対策

VPNライセンスの追加購入

VPNライセンスを **使用する社員数** や利用する **クラウドサービス** の仕様を加味して、同時接続数の **上限** を見積もる必要があります。

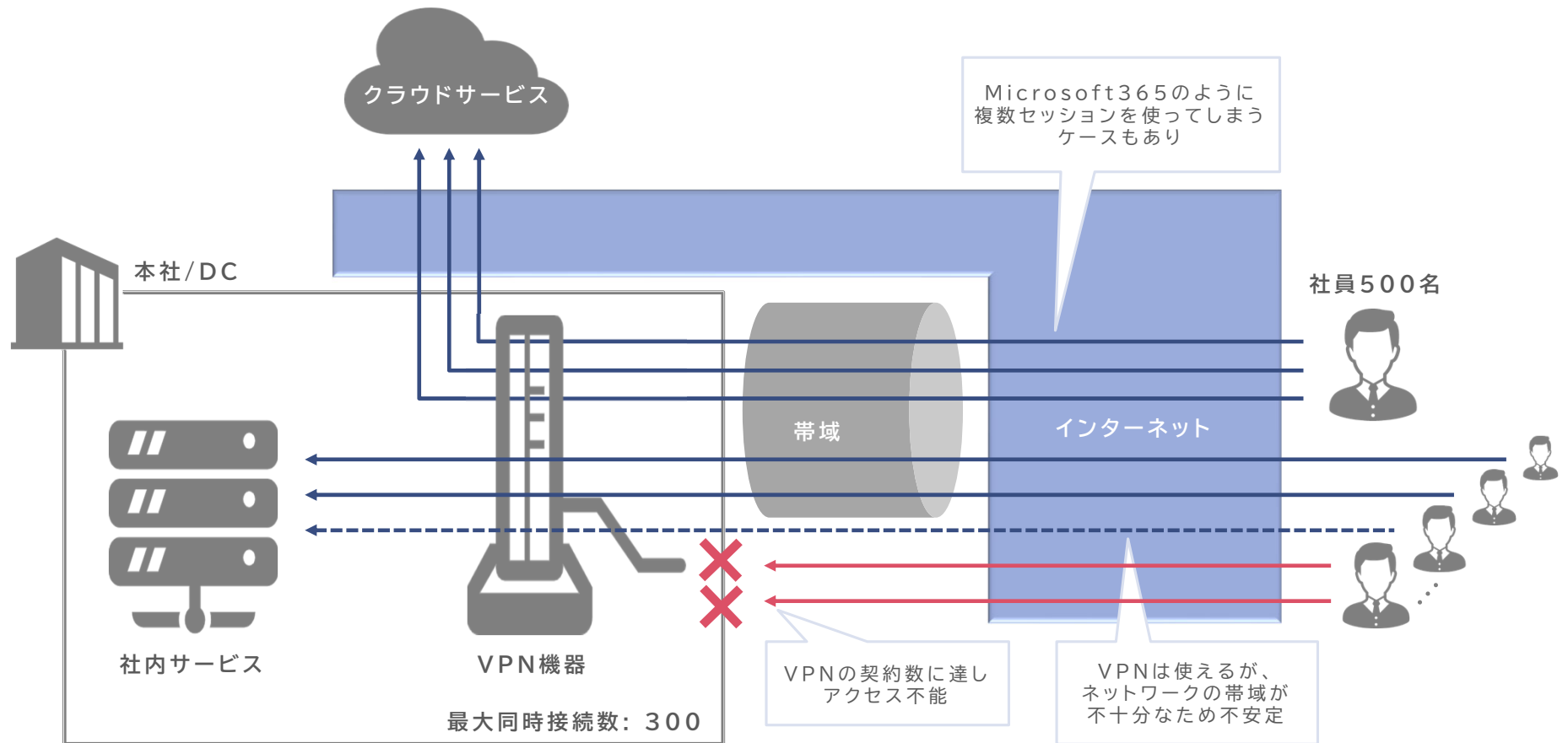


集約回線の強化

VPN機器のライセンスが十分でも、**関連する機器** や **回線** の性能が十分でなければ遅延の解消には至りません。
必要量を見積もって、**機器や回線を増強** する必要があります。

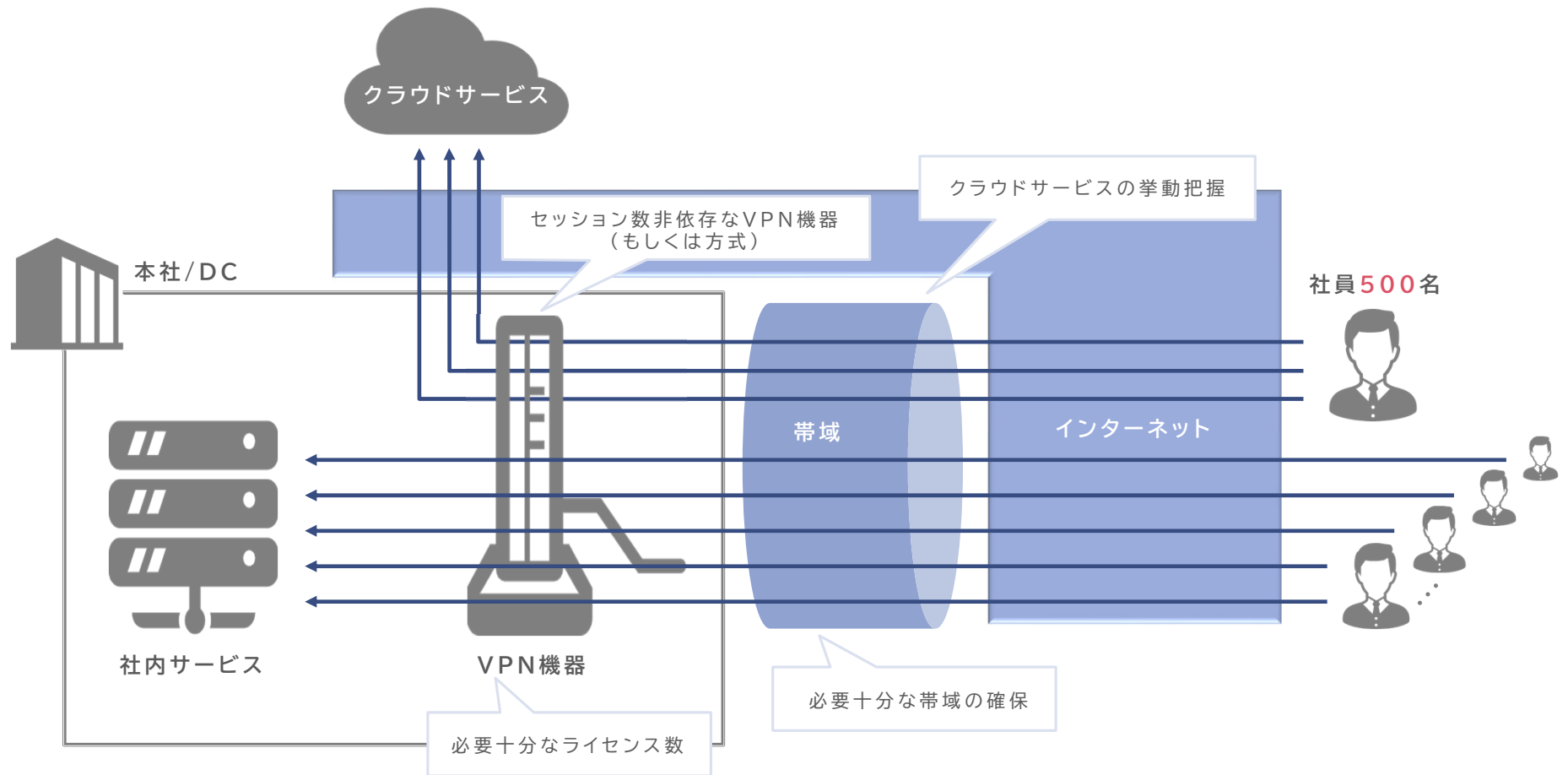
VPN 渋滞 ②

STEP 1 : 課題



VPN 渋滞 ③

STEP 1：対策



ネットワークコスト増加①

STEP 2

▶ 課題

Zoomなどクラウドサービスの利用増

ビデオ会議やお客様とのファイル共有など、クラウドサービスの利用が一気に増加しています。

また、Windows Updateの仕様変更により、これまで以上にトラフィックが増加傾向にあります。



既存構成の使い回し

過去に営業担当向けに構築したリモートアクセスの仕組みに対して、単純にネットワークの帯域を増強して対応していませんか？
これまでの仕組みは、少人数でのアクセスを前提にしていることが多く、帯域を増強しただけでは多人数のリモートアクセスには耐えられません。



▶ 対策

トラフィックエンジニアリング

様々なトラフィックの通信経路を適切に振り分ける**トラフィックエンジニアリング**を行う事で、**ネットワークコストを減少**させることが可能です。

本社/DCを経由しない**LBO(Local Break Out)**の実施や、特定のトラフィックを振り分ける**経路分散**などを行う事でコストの削減が可能です。

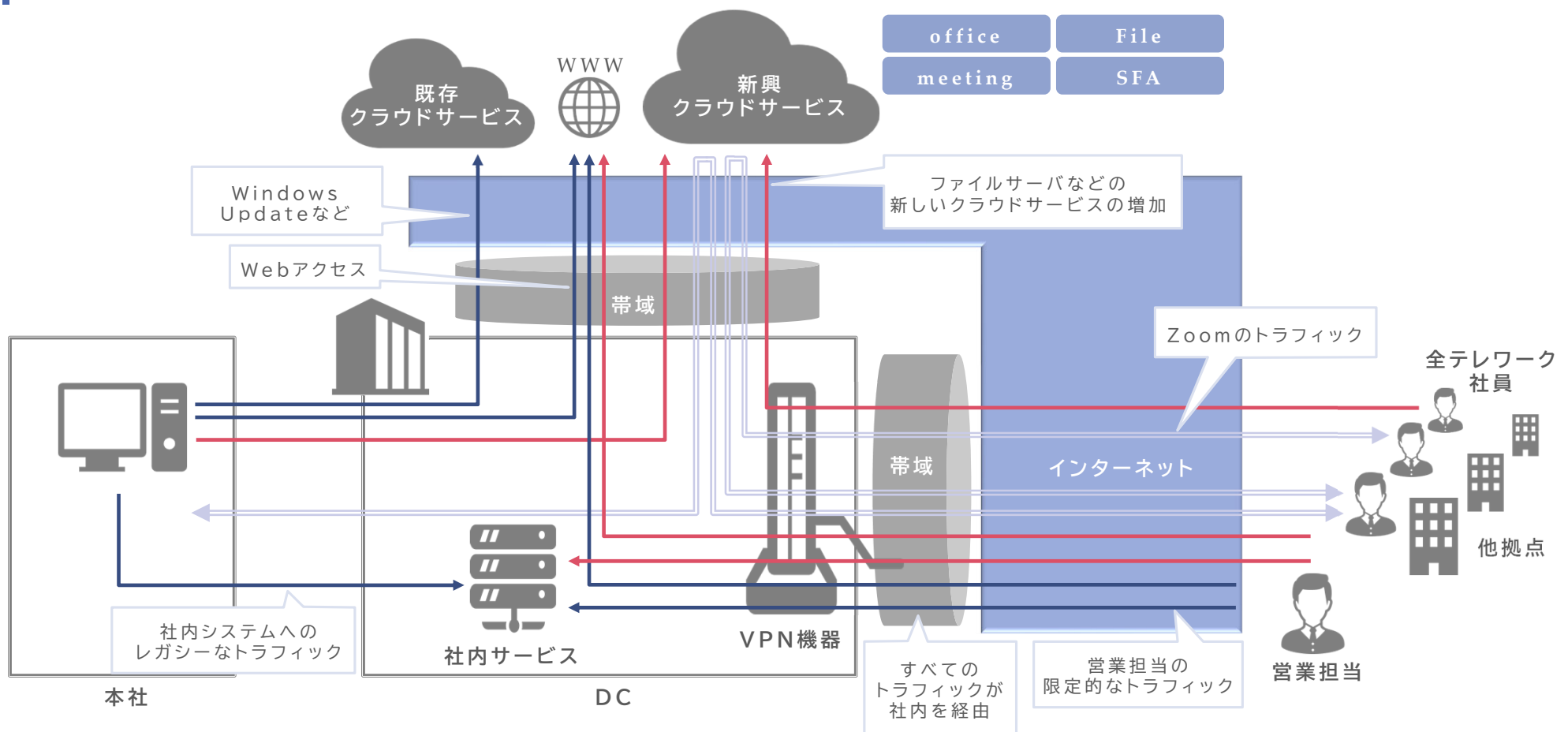
契約の見直し

これを機会に、ネットワークの契約内容を見直してみませんか？
3年前の契約内容を維持し、帯域を増強するよりも、**現在のメニューはもっと安価**になっています。

ネットワークを取り巻く技術も日進月歩である為、定期的に契約を見直す必要があります。

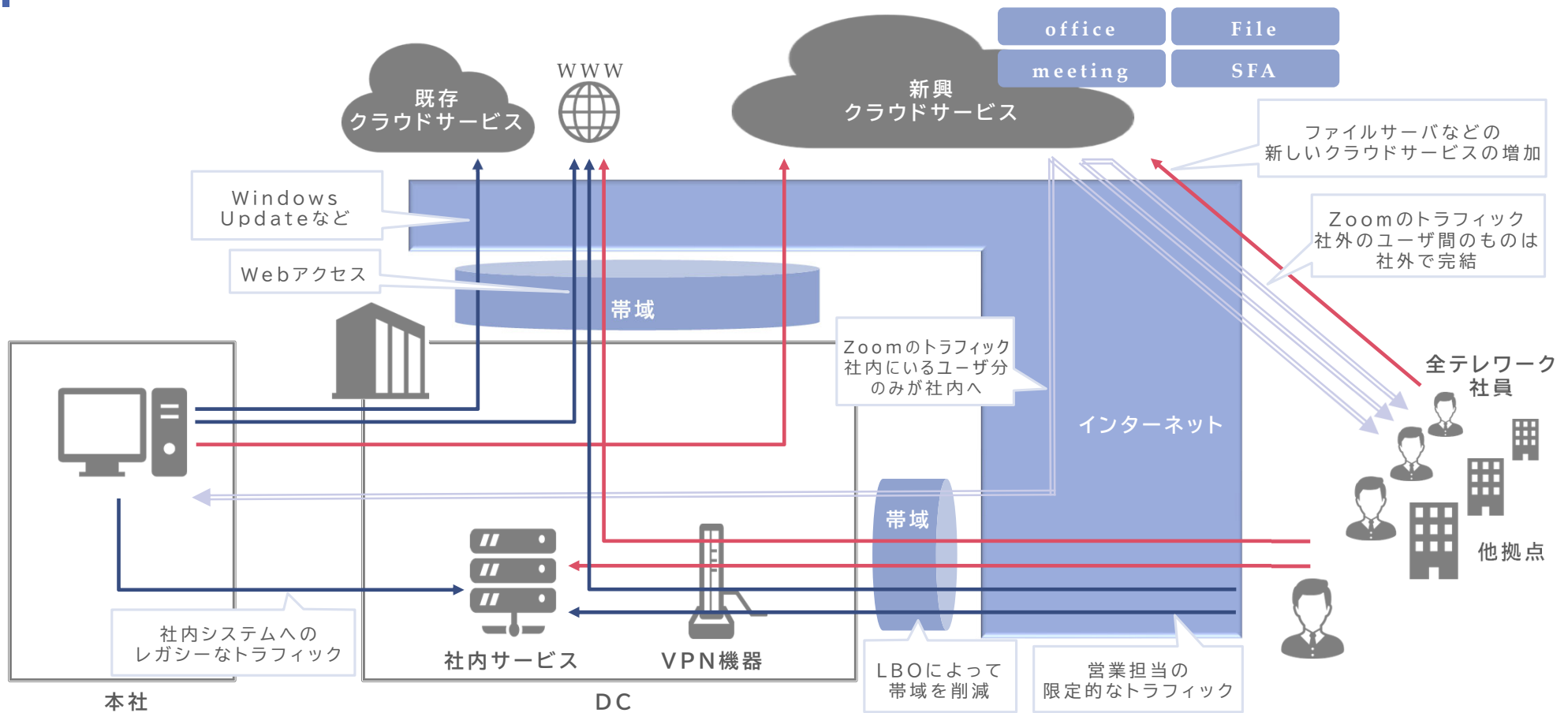
ネットワークコスト増加②

STEP 2：課題



ネットワークコスト増加 ③

STEP 2：対策



セキュリティの不安①

STEP 3

▶ 課題

シャドウIT, 情報漏洩, 不正アプリ

クラウド利用の増加により、情報漏洩の懸念が高まっています。また、トラフィック緩和の為、LBOを行ったり、自宅のPCを使用して業務を行ったりと、リモートワークの最適化をすることで、会社が機器やソフトウェア、通信内容を把握できないIT機器、シャドウITが増加しています。

境界防衛の破綻

これまでの企業ネットワークは、社内は安全/社外は危険といった境界の概念を持ち、本社/DCでは境界防衛が行われていました。しかし、テレワークやクラウドサービスが普及した今、社外ネットワークにも安全性が必要とされ、社内/社外の境界が破綻し始めています。



▶ 対策

ゼロトラストの導入

すべてのユーザー/デバイスは”信頼できない”ものとしてセキュリティを考える**ゼロトラストの仕組み**を導入することで社外ネットワークでも安全性を担保することができます。

IDSや**CASB**等のサービスを導入することでゼロトラストの仕組みを実現し、クラウドを便利で安全に利用することが可能です。

IAM(Identity & Access Management):

ユーザの**認証**に加え、ユーザの状態を把握することも可能です。これによりコンテキストベースの**認可**が可能になります。

CASB(Cloud Access Security Broker):

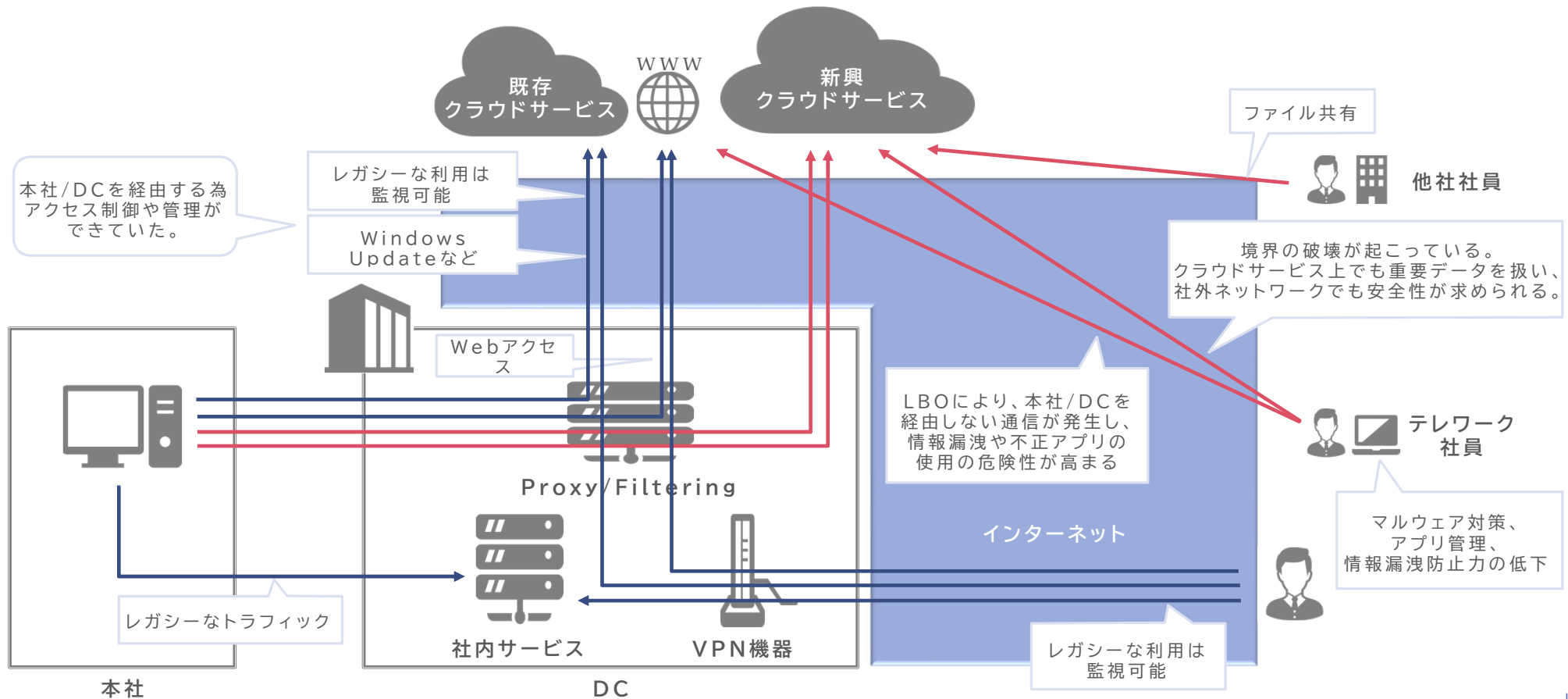
クラウドサービスへのアクセス管理を**実施**する機能です。IDaaSと連携することで、いつでも誰が何にどのようにアクセスできるのかを管理します。

ゼロトラストのサービスはこれらに限らず多岐にわたります。お困りごとがございましたら、ご相談ください。



セキュリティの不安②

STEP 3：課題



ネットワークの改善からセキュリティ対策

STEP 3

▶ 課題

シャドウIT, 情報漏洩, 不正アプリ

クラウド利用の増加により、情報漏洩の懸念が高まっています。また、トラフィック緩和の為、LBOを行ったり、自宅のPCを使用して業務を行ったりと、リモートワークの最適化をすることで、会社が機器やソフトウェア、通信内容を把握できないIT機器、シャドウITが増加しています。

境界防衛の破綻

これまでの企業ネットワークは、社内は安全/社外は危険といった境界の概念を持ち、本社/DCでは境界防衛が行われていました。しかし、テレワークやクラウドサービスが普及した今、社外ネットワークにも安全性が必要とされ、社内/社外の境界が破綻し始めています。



▶ 対策

ゼロトラストの導入

すべてのユーザー/デバイスは”信頼できない”ものとしてセキュリティを考える**ゼロトラストの仕組み**を導入することで社外ネットワークでも安全性を担保することができます。

IDSや**CASB**等のサービスを導入することでゼロトラストの仕組みを実現し、クラウドを便利で安全に利用することが可能です。

IAM(Identity & Access Management):

ユーザの**認証**に加え、ユーザの状態を把握することも可能です。これによりコンテキストベースの**認可**が可能になります。

CASB(Cloud Access Security Broker):

クラウドサービスへのアクセス管理を**実施**する機能です。IDaaSと連携することで、いつでもどこで誰が何にどのようにアクセスできるのかを管理します。

ゼロトラストのサービスはこれらに限らず多岐にわたります。お困りごとがございましたら、ご相談ください。



1

ネットワーク機器の見直し

現状使用している機器の見直しを行い、通信のボトルネックを発見/対応を行います。

2

サービスの見直し

現状のネットワーク利用状況とサービス内容を見直し、通信速度とコストの改善を行うことで、VPN渋滞を解決します。

3

トラフィックの見直し

複雑なトラフィックを整理し、トラフィックの最適化を進めることで、ネットワーク遅延の解消やVPN装置の負荷軽減を行います。

4

セキュリティ強化ゼロトラストへ

シャドウITの利用、情報漏洩、デバイスの管理など、ネットワークセキュリティは多岐にわたります。DTSでは、今後を見越したゼロトラストなど、セキュリティ環境の構築支援も対応致します。

4 STEPS

ネットワークの改善から セキュリティ対策

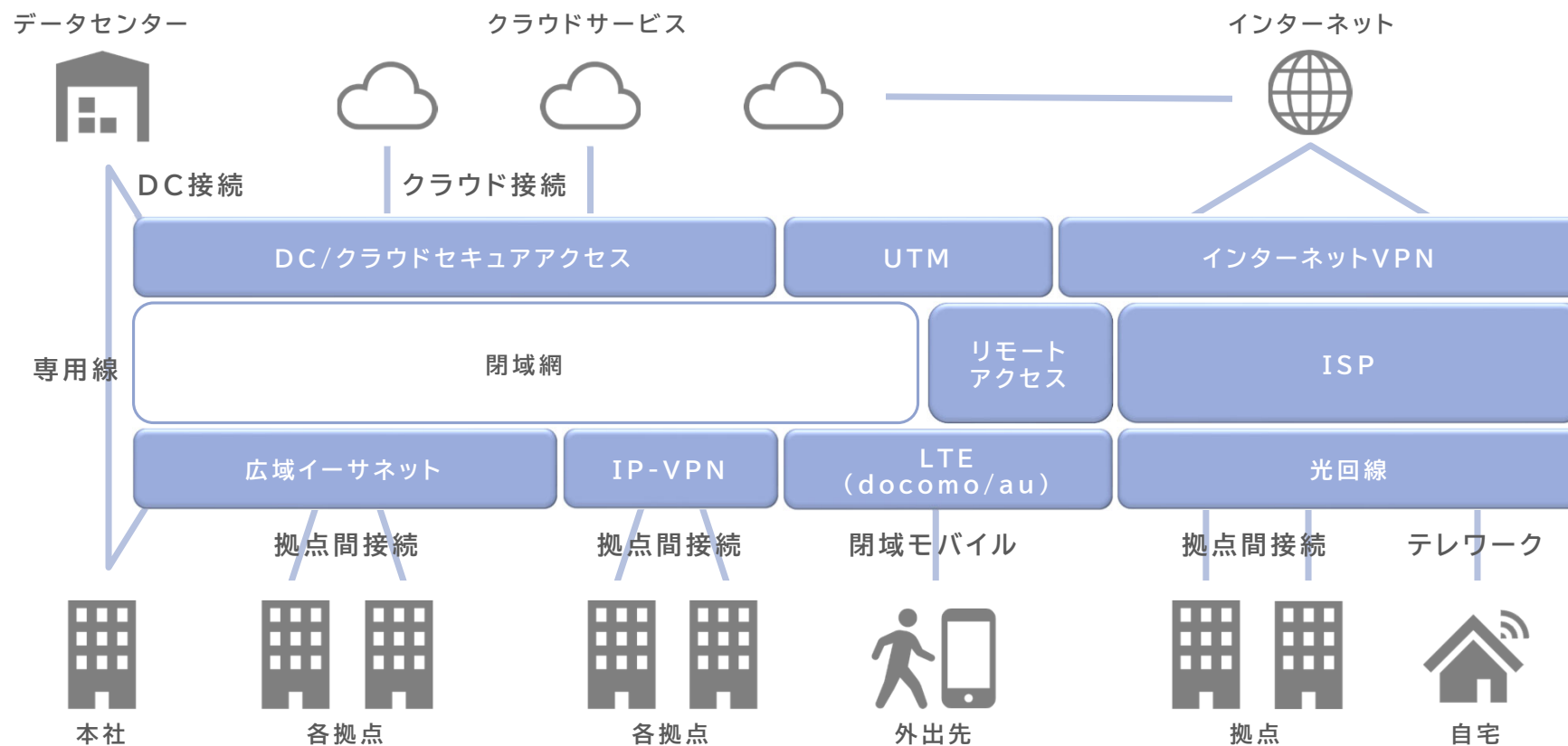
3.

DTSのご提案



多彩なソリューション

信頼性の高いキャリアとの契約により、お客様に最適なソリューションをご提案いたします。
数年前に契約したネットワークの費用見直しだけでもご相談ください。



ライフタイムサポート

お客様に必要なサービスをご提供いたします。
気になるサービスがございましたら、お気軽にお声がけください。



4.

株式会社DTS 会社概要



株式会社DTS 会社概要



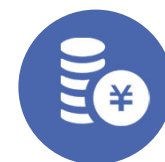
設立
1972年
8月25日



従業員数
連結
5,703人



売上高
連結売上高
106,132百万円



営業利益
連結営業利益
11,694百万円

2023年3月31日現在

▶ 会社概要

商 号	株式会社 DTS (DTS CORPORATION)
設立年月日	1972年8月25日
資 本 金	6,113百万円
株 式	東京証券取引所プライム市場(証券コード 9682)
売 上 高	106,132百万円(連結) 74,356百万円(単独)
従業員数	5,703名(連結) 3,071名(単独)

▶ 役員

代 表 取 締 役 会 長	西 田 公 一
代 表 取 締 役 社 長	北 村 友 朗
取 締 役 会 員	竹 内 実
取 締 役 会 員	浅 見 伊 佐 夫
取 締 役 会 員	小 林 浩 利
社 外 取 締 役	平 田 正 之 矢 野 信 哉
	山 田 伸 一 増 田 由 美 子

Delivering Tomorrow's Solution

1972年の創業以来、独立系の総合情報サービス企業として金融や通信をはじめ、さまざまな業種・業態のお客様にコンサルティングから設計、開発、運用、基盤構築までの多種多様なITサービスを提供しています。

株式会社DTS 会社概要

▶ 事業所

本社	東京都中央区八丁堀2-23-1 エンパイヤビル(受付8階)
門前仲町開発センタ	東京都江東区福住2-5-4 IXINAL門前仲町2階
新川開発センタ	東京都中央区新川1-28-44 新川K・Tビル3階
西新宿開発センタ	東京都新宿区西新宿2-7-1 小田急第一生命ビル25階
関西開発センタ	大阪府大阪市中央区安土町2-3-13 大阪国際ビルディング22階
日暮里オフィス	東京都荒川区東日暮里5-7-18 コスモパークビル5階

▶ グループ会社



国内

日本SE 株式会社
株式会社DTS WEST
株式会社 九州DTS
株式会社 MIRUCA



海外

デジタルテクノロジー株式会社	遼天斯(上海)軟件技術有限公司(DTS上海)
株式会社DTSインサイト	大連思派電子有限公司(DLSE)
アイ・ネット・リリー・コーポレーション株式会社	DTS America Corporation
株式会社DTSパレット	DTS SOFTWARE VIETNAM CO., LTD.
	Nelito Systems Limited

▶ アクセス



Delivering Tomorrow's Solution

1972年の創業以来、独立系の総合情報サービス企業として金融や通信をはじめ、さまざまな業種・業態のお客様にコンサルティングから設計、開発、運用、基盤構築までの多種多様なITサービスを提供しています。



製品・サービスについてのご質問、資料請求は
下記よりお問い合わせください。

<https://www.dts.co.jp/inquiry>